



イモリとヤモリはどうちがうの

形やすむ場所がちがう

イモリは水に、ヤモリは陸にすみます。水にすむイモリのしっぽは平たく、泳ぐのに適しています。おなかが赤いので、アカハラともよばれます。ヤモリのしっぽは丸形です。このしっぽは、トカゲと同じように自分で切ることができます。また、ヤモリは体全体がうるこでおおわれています。

イモリは両生類

イモリは、カエルなどと同じ両生類です。両生類とは、水と陸の両方を生活の場所にすることからつけられた、生物分類上の区分です。

カエル、サンショウウオも同じ両生類の仲間です。水にからず時期はオタマジャクシの形をしています。えらがあり、水中の酸素を呼吸します。成長するとえらがなくなり肺ができて、陸にも上がれるようになります。イモリは、カエルほどは水辺からは遠く離れられません。また、カエルとちがい、イモリのしっぽはなくなりません。

ヤモリはヘビ、トカゲ、カメと同じは虫類

ヤモリは、肺をもち空気呼吸をします。家の庭や屋内にすみ、灯火に集まる虫などをとらえて食べます。足の裏には、たくさんのかぎづめがあり、ガラス戸、壁や天井を歩けます。ヤモリはおどろくと、しっぽを切ってにげます。しかし、また生えてきます。

漢字で書くと井守、家守

イモリ、ヤモリは漢字で書けば井守、家守。田に水をひく井戸の主や家の主のようなもので、人間とかかわり深い生き物です。ヤモリは家の中の害虫をとらえますので、殺してはいけないと教えられています。

(監修・中山 周平)

